

令和 8 年度 大岩保育所等空調設備改修工事

図 面 リ ス ト

図面番号	図 面 名 称	S C A L E
M-01	図面リスト	-
M-02	機械設備工事特記仕様書(1)	-
M-03	機械設備工事特記仕様書(2)	-
M-04	付近見取図・配置図	S=1/300
M-05	改修 冷暖房設備 機器表	-
M-06	改修 冷暖房設備 1階配管・配線図 (1)	S=1/100
M-07	改修 冷暖房設備 1階配管・配線図 (2)	S=1/100
M-08	改修 冷暖房設備 屋上配管図	S=1/100
M-09	撤去 冷暖房設備 1階配管・配線図 (1)	S=1/100
M-10	撤去 冷暖房設備 1階配管・配線図 (2)	S=1/100
M-11	撤去 冷暖房設備 屋上配管図	S=1/100

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

I. 工 事 概 要

1 工 事 場 所 岩美郡岩美町大字 大谷 地内

2 建 物 概 要

番 号	建 物 名 称	構 造	階 数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令第1条第一の区分	備 考
1	大岩交流センター	RC-W	1階	2,010.63	(16) 項 イ	
2					() 項	
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工 事 種 目 (●印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番 号	1	2	3	4	5	屋外	備 考
● 空 気 調 和 設 備								
● 冷 暖 房 設 備	○							
● 換 気 設 備								
● 排 煙 設 備								
● 自 動 制 御 設 備								
● 衛 生 器 具 設 備								
● 給 水 設 備								
● 排 水 設 備								
● 給 湯 設 備								
● ガ ス 設 備								
● 浄 化 槽 設 備								
● 消 火 設 備								
● さ く 井 設 備								
● 電 気 設 備 工 事								
● 建 築 工 事								

4 設 備 概 要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

●印の付いたものを適用する。

項 目	設 備 概 要
● 空 気 調 和 設 備	● 単一ダクト方式 ● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式
● 冷 暖 房 設 備	● ファンコイルユニット方式 ● パッケージ方式
● 暖 房 設 備	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房 (● 局所式 ● 中央式) ● 床暖房
● 熱 源	● 電気 ● 灯油 ● A重油 ● ガス ● バイオマス
● 主 要 熱 源 機 器	● 鋼製ボイラー ● 鋳鉄製ボイラー ● 真空式温水発生機 ● 無圧式温水発生器 ● チリングユニット ● スクリュー冷凍機 ● 遠心冷凍機 ● 吸収式冷凍機 ● 直だし吸収式冷水温水機 ● 小形吸収式冷水温水ユニット ● バイオマスボイラー ● ルームエアコン ● ヒートポンプパッケージエアコン (マルチタイプ ● 有 ● 無) ● 温風暖房機 ● F F 暖房機 ● その他 ()
換 気 設 備	● 第一種 ● 第二種 ● 第三種
排 煙 設 備	● 機械排煙 (適用法規 ● 建基法 ● 消防法)
自 動 制 御 設 備	● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式
● 給 水 設 備	給 水 方 式 ● 水道直結方式 ● 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式 水 源 ● 水道水 ● 井水
● 排 水 設 備	排 水 方 式 ● 自然流下 ● ポンプ排水 (● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水) 放 流 先 ● 汚 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 ● 雑 排 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 ● 雨 水 ● 公共下水道 ● 側溝 ● 河川 浄 化 槽 処 理 方 式 ● 小規模合併 ● 合併 処理水放流先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川
● 給 湯 設 備	● 局所式 (● ガス ● 油 ● 電気) ● 中央式 (● 油 ● ガス ● 電気)
● 消 火 設 備	● 屋内消火栓 ● 屋外消火栓 ● 連結送水管 ● 連結散水 ● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置 ● 不活性ガス消火 (● 窒素 ● 窒素系 ●) ● ハロゲン化物消火
● ガ ス 設 備	● 都市ガス (MJ/Nm3) ● 液化石油ガス

II. 特 記 仕 様

1 一 般 事 項

(1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて ●印の標準仕様等による。

● 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (令和7年版) 」 (以下「標準仕様書」という。)

● 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (令和7年版) 」 (以下「改修標準仕様書」という。)

● 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (令和7年版) 」 (以下「標準図」という。)

(2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針 (令和7年版) 」 (以下「監理指針」という。) を適用する。

(3) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特 記 事 項

(1) 項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項のうち選択する事項は ● 印の付いたものを適用する。

● 印の付かない場合は、 ※ 印の付いたものを適用する。 ● 印と ※ 印の付いた場合は両方を適用する。

(3) 一般共通事項のうち (1、2、7、8、11、12、13、14、34、35、37) 項は、 ● 建築 ● 電気設備 工事仕様書による。

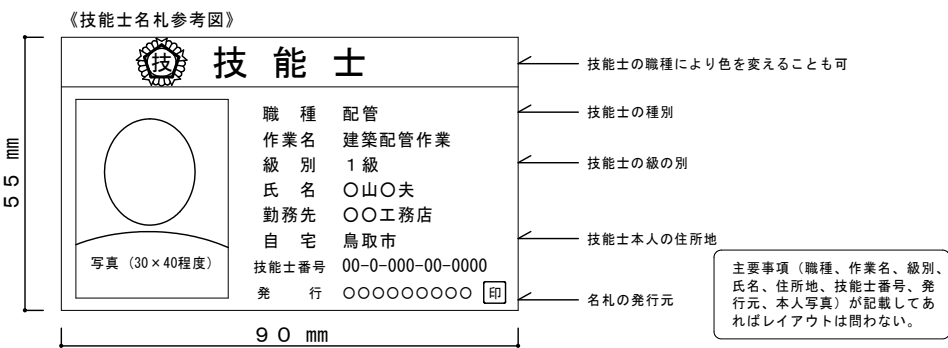
一
般
共
通
事
項

項目	特記事項																																				
1 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。																																				
2 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物にかかる工事についても、家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。																																				
③発生材の処理等	引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り () 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り (● 配管用保温材 ● 冷媒ガス) アスベスト含有設備資機材 (ガスケット、パッキン、たわみ継手等) は関係法令に従い適切に処理を行う。 再生資源の利用を図るもの ※ 無し ● 有り (● コンクリート塊 ● アスファルトコンクリート塊) ● 建設発生木材 ● ()																																				
④機材等	イ) 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。 ロ) (一社) 公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。																																				
⑤機材の品質・性能証明	J I S マーク等のある機材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2 (c) の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績等は除く。																																				
⑥機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式集 (令和元年版) によるほか、監督員の指示による。																																				
⑦施工図等	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。																																				
⑧完成写真等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを提出する。																																				
⑨完成図等	<table><tr><th>区分</th><th>分類・規格</th><th>撮影箇所</th><th>部数</th><th>電子データの提出</th></tr><tr><td rowspan="2">工事写真</td><td>カラーサービス判</td><td>各工種工程毎</td><td>※ 1部 ● 部</td><td>● 要 ● 不要</td></tr><tr><td>完成写真</td><td>カラーサービス判</td><td>監督職員の指示による</td><td>※ 2部 ● 部 ㊦ 要 ● 不要</td></tr></table> 次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。 <table><tr><th>区分</th><th>名称</th><th>部数</th></tr><tr><td rowspan="2">※ 完成図原図</td><td>完成図 ● 原紙 ㊦ C A D データ ㊦ P D F データ 施工図 ● 原紙 ● C A D データ ● P D F データ</td><td rowspan="2">1部</td></tr><tr><td>※ 完成図 2つ折製本 ※ 完成図 (縮小版) ● 施工図</td><td>※ 2部 ● 部</td></tr><tr><td rowspan="2">※ 完成図書 ※ A 4版市販ファイル ● A 4版黒表紙製本</td><td>● 完成図 (縮小版) ㊦ 主要機器図 ㊦ 試験成績書</td><td rowspan="2">※ 2部 ● 部</td></tr><tr><td>※ 保守用説明書 (A 4版ファイル) ※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表</td><td>※ 2部 ● 部</td></tr><tr><td>※ 保証書</td><td></td><td>1部</td></tr><tr><td>※ 官公署の届出書類</td><td></td><td>1部</td></tr><tr><td colspan="3">● 原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。</td></tr></table>	区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出	工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	● 要 ● 不要	完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部 ㊦ 要 ● 不要	区分	名称	部数	※ 完成図原図	完成図 ● 原紙 ㊦ C A D データ ㊦ P D F データ 施工図 ● 原紙 ● C A D データ ● P D F データ	1部	※ 完成図 2つ折製本 ※ 完成図 (縮小版) ● 施工図	※ 2部 ● 部	※ 完成図書 ※ A 4版市販ファイル ● A 4版黒表紙製本	● 完成図 (縮小版) ㊦ 主要機器図 ㊦ 試験成績書	※ 2部 ● 部	※ 保守用説明書 (A 4版ファイル) ※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部	※ 保証書		1部	※ 官公署の届出書類		1部	● 原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。		
区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出																																	
工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	● 要 ● 不要																																	
	完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部 ㊦ 要 ● 不要																																	
区分	名称	部数																																			
※ 完成図原図	完成図 ● 原紙 ㊦ C A D データ ㊦ P D F データ 施工図 ● 原紙 ● C A D データ ● P D F データ	1部																																			
	※ 完成図 2つ折製本 ※ 完成図 (縮小版) ● 施工図		※ 2部 ● 部																																		
※ 完成図書 ※ A 4版市販ファイル ● A 4版黒表紙製本	● 完成図 (縮小版) ㊦ 主要機器図 ㊦ 試験成績書	※ 2部 ● 部																																			
	※ 保守用説明書 (A 4版ファイル) ※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表		※ 2部 ● 部																																		
※ 保証書		1部																																			
※ 官公署の届出書類		1部																																			
● 原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。																																					

⑩ 技 能 士 の 通 用

下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするときに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行う。また、そのものが技能士であることが分かる名札 (下図参考) を常時着用する。

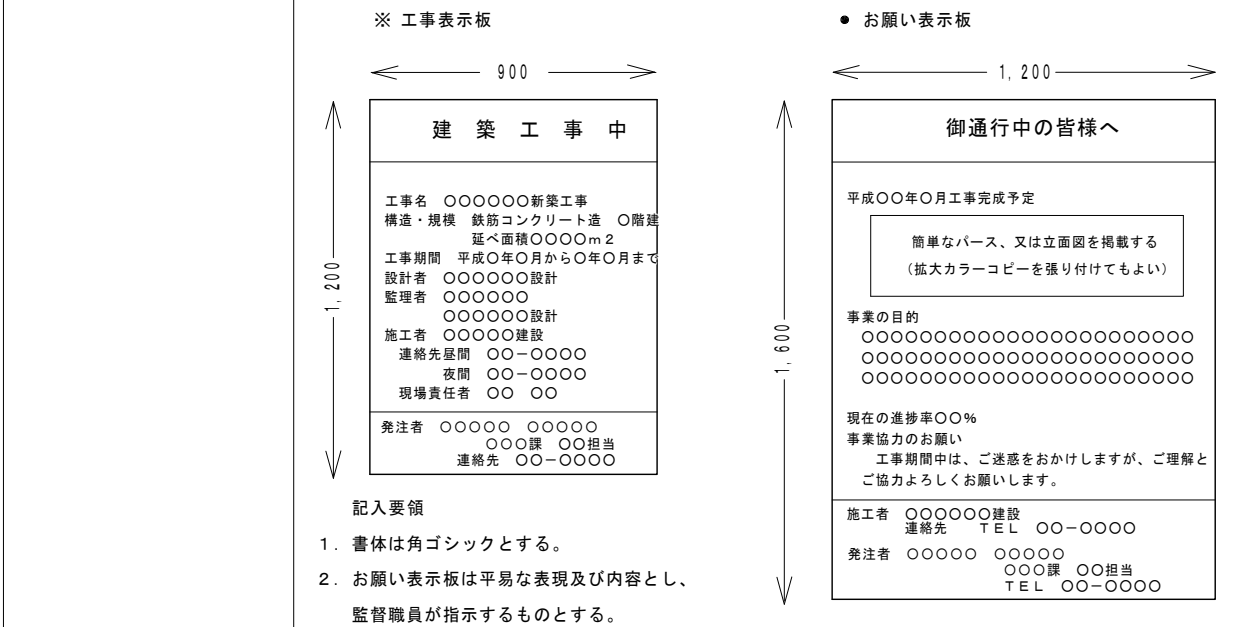
● 配管 (● 1 級 ● 2 級) ● 熱絶縁施工 (● 1 級 ● 2 級)
● 冷凍空調調和機器施工 (● 1 級 ● 2 級) ● 建築板金 (● 1 級 ● 2 級)



11 他 工 事 と の 取 合

一 般 共 通 事 項

⑫ 工 事 用 水 ・ 電 力 ・ そ の 他
⑬ 表 示 板



⑭ 工 事 用 仮 設 物
15 土 工 事

⑮ 耐 震 措 置

「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成8年版」 (建設大臣官房官庁営繕部監修) によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」 (国土交通省国土技術政策総合研究所・ (独) 建築研究所監修) による。設計用水平地震力は、機器の荷重 (kN) に、地域係数、設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設置場所	機器種別	● 特定の施設		● 一般の施設	
		● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器
屋上・塔屋	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
	防振設置機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
	水 槽 類	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
中 間 階	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	防振設置機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
	水 槽 類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
地階・1階	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	防振設置機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6
	水 槽 類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6

重要機器 ● 防災機器 ● 火気を使用する機器 ● タンク類

注) 設計用鉛直地震力は水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

⑯ 図 形 等 の 表 示
⑰ 電 気 容 量 及 び 機 器 表 示

⑱ 保 温 工 事

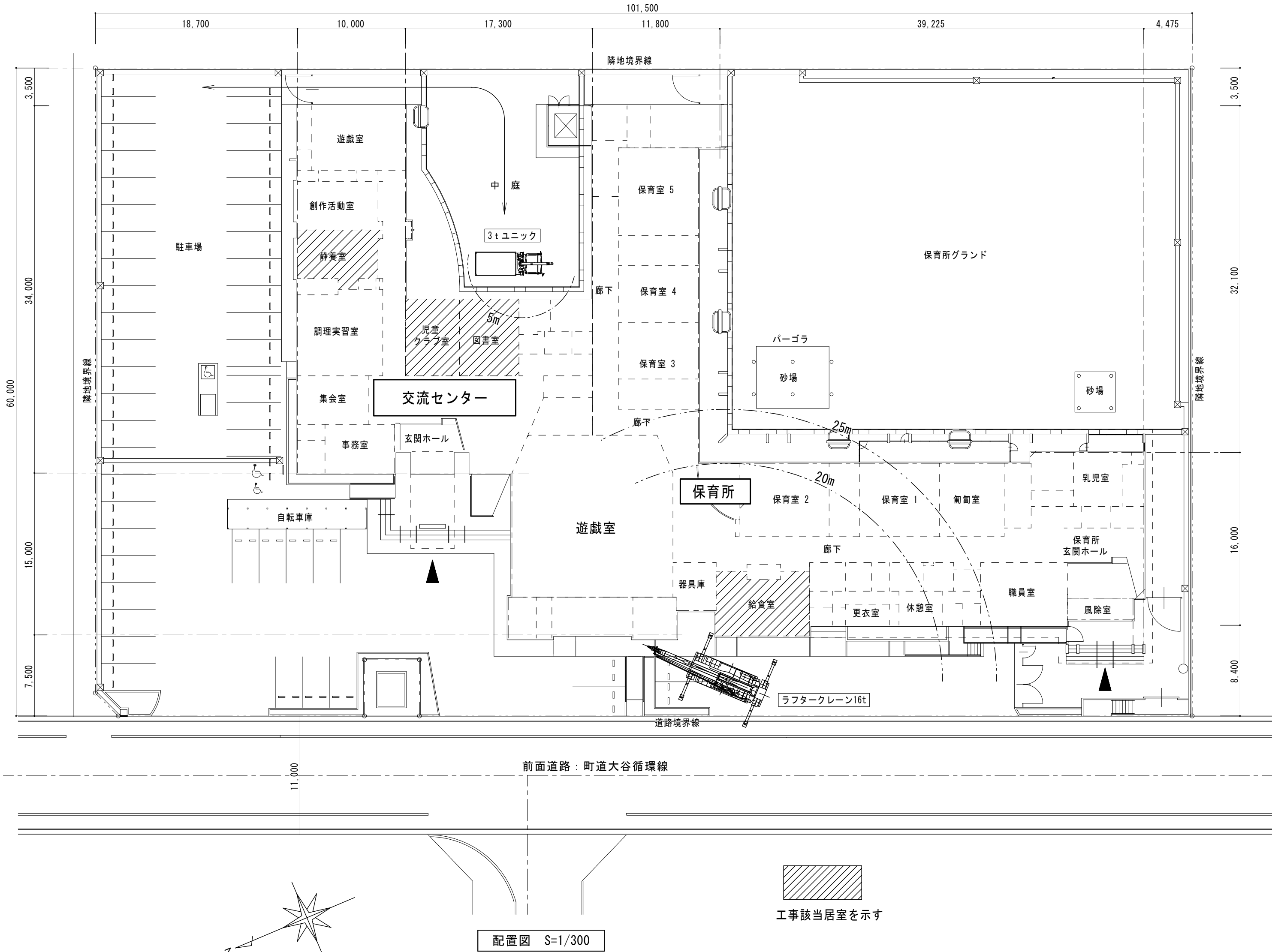
機器類は、図示する形状、配管等などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。

● 冷温水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)
● 蒸気管 (● ロックウール ● グラスウール ●)
● 給水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)
● 排水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ● 保温チューブ (厚さ@) ●)
● 給湯管 (● ロックウール ● グラスウール ● 保温チューブ (厚さ@) ●)
● 消火管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)
● ダクト (● ロックウール ● グラスウール ●)
● 燃焼熱源等機械室内の配管 (● ロックウール ● グラスウール)
● 全熱交換機の給気ダクト (● 機器外気側 ● 機器室内側) は保温 (グラスウール25mm厚) する。
● 冷媒管の保温外装 屋内 (● 樹脂製化粧ケース ● 合成樹脂製シート ● S U S 鋼板)
屋外 (● 樹脂製化粧ケース ● S U S 鋼板 ● 溶融アルミニウム鋼板)

一般共通事項	20 鋼管類の防食処置 21 絶縁継手 22 防振継手 23 伸縮管継手 24 塗装	地中埋設 ●ベトロラタム系 ●ブチルゴム系 ●熱収縮チューブ及びシート ●標準図（施工3） （●（1）絶縁フランジ ●（2）絶縁シート） ※合成ゴム製（球形） ●ポリテトラフルオロエチレン製 ●ペローズ形（ステンレス製） ※ペローズ形 ●スリーブ形 各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。（さび止め塗装は除く。） （ア）埋設されるもの（ただし、防食塗装部分を除く） （イ）垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面 （ウ）垂鉛めっきされたもので、常時隠べいされる部分 （エ）垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類 （オ）樹脂コーティング等を施したもので、常時隠べいされる部分 （カ）カラー垂鉛鉄板面 （キ）アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウムー垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面 （ク）特殊な意匠の表面仕上げ処理を施した面 （ケ）主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管 ●上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所（ 呼び径60mm以下の継手は、SAS322による抵管式とする。 ●ガス配管 ●冷水水配管 ●冷却水配管 非破壊検査の適用（●放射線透過検査 ●浸透探傷検査又は磁粉探傷検査） 抜取率（●標準仕様書による ●％ ●地中埋設標を図示する箇所に設ける。 ●埋設表示用テープを埋設する。（●ガス管 ●屋外給水管 ● ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。 屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融垂鉛めっき仕上げとする。 下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。 ◎温度 ●湿度 ●風量 ●騒音 ●水量 ●浄化槽放流水質 ●風速 ●じんあい ●飲料水水质（●一般飲料水適否検査 ● ●その他水质等（●雑用水 ●空調用流体 ● 建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。 処理を行うアスベスト含有建材の仕様等	12 ファンコイルユニット 13 ダンパー 14 ダクト 15 吹出口・吸込口 16 チャンバー等 17 消音内貼り 18 瞬間流量計及び流量測定口 19 定風量・変風量ユニット 20 温度計 21 冷温水管の空気抜き 22 空調機用トラップ 23 銅板製煙道 24 オイルサービスタンク 25 地下オイルタンク 26 油面制御装置 27 フィルター等付属品 28 パッケージ空調機的能力表示 29 防振吊り及び支持金物 4 排水設備 5 自動制御設備 6 衛生器具設備 7 給水設備 3 換気設備	※流量調整弁 ●定流量弁（●ダイヤフラム式流量可変式 ●カートリッジオリフィス形）を取付ける。 （ア）防煙ダンパー ※遠隔復帰式 ●電気式 （動作作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。） （イ）ピストンダンパー ※遠隔復帰式 ● ※低圧ダクト ●高圧1ダクト ●高圧2ダクト ●長方形ダクト ●コーナーボルト工法（●共板工法 ●スライドオンフランジ工法） （長辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。） ●アングルフランジ工法 ●防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 ボックス ※垂鉛鉄板製 ●グラスウール製 シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工47）を参考とする。 接続するダクトの施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。 線状吹出口には、（長さ＋100）×300×300Hの接続チャンバーを設ける。 外壁に面するガラリにチャンバー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 吹出口接続チャンバー及び図示したダクト並びにチャンバー類に内貼する。 内貼りチャンバー類の寸法は、外法寸法とする。 吹出口接続チャンバー以外の内貼りしたチャンバーには点検口（原則400×600）を取付ける。 形式はビート管式（コック付）とする。 ●着脱式 ●固定式 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 ●冷凍機類の冷水出口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング ●冷凍機類の冷却水出口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング ●ボイラー又は熱交換器の温水出口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング ●冷水水ヘッダーの各送り管 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング ●ユニット形空気調和機の冷水水入口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング ●メカニカル形 ●風速センサー形 機器付属以外の温度計 ※工業用バイメタル式 ●ガード付L形温度計 空気漏れを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。 ●手動 ●自動 自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工36（g）） 機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。 トラップ形式はフオートボール式（床置型） ※FRP製保温型 ●FRP製 ●SUS製 材質及び厚さ ●SS400（※3.2mm ●4.5mm） ●SUS（※1.5mm ●2.0mm） 煤煙濃度計 ●取付ける ●取付けない ●取付座を付ける 煤じん量測定口（80φ×2） ※取付ける ●取付けない 油面計はゲージ式（側圧計）とする。 掘付け方法 ●標準図（施工30）（二重設タンク・タンク室無し） ●標準図（施工31）（タンク室有り） タンクの保護被覆 ※強化プラスチック ●エポキシ樹脂 ●アスファルト 基礎杭 ※不要 ●要（※別途工事 ●本工事） 土留め工事 ●要 ●不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ●給油ポンプの起動停止 ●満油警報 ●減油警報 ● ●機器表特記による。 ●空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。 ※垂鉛鉄板製 ●銅板製（厚1.6mm） 形状 ●パネル形 ●スリット形 ●ダンパー形 取付け ●天井取付 ●壁取付 電気式（遠隔操作 ※不要 ●要） 建築設備定期検査業務基準書2016年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の検査方法に準ずる。 ●有り（構成機能は、図示による） ●無し ●要（●本工事 ●別途工事） ●不要 取付高さ ※1300mm ●mm ●屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。 ●天井隠べいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。 型番変更により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考品番の同等品以上のものとする。 ※節水形 ●標準形 ●自動洗浄（●AC100V ●乾電池 ●自己発電） ●手動洗浄 ●洗浄水量4リットル／回以下 電源供給方式 ●AC100V ●乾電池 ●自己発電 標準図（施工66）の（b） ●親メーター ※借用 ●買取 （※直読 ●遠隔表示） ●子メーター ※買取 ●借用 （※直読 ●遠隔表示） （ア）一般配管 ●SGP-VB ●SGP-PB ●SUS304 ●SUS316 ●HIVP ●架橋ポリエチレン管 （イ）土間配管 ●SGP-VD ●SGP-PD ●HIVP ●SUS304 ●SUS316 （ウ）屋外埋設配管 ●SGP-VD ●SGP-PD ●HIVP ●SUS304 ●SUS316 ●水道配水用ポリエチレン管（75～100A） ●水道用ポリエチレン二層管（50A以下） （エ）特記なき給水管の最小口径は20Aとする。 （オ）ビニル管の接合方法 ※接着接合 ●ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。） （カ）ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※金属製継手 ●融着継手 75A以上 ※融着継手 ※口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ラインング弁とする。 ●5K（受水槽以降の配管に使用） ●10K（公営水道に直結する配管に使用） ●公営水道事業者指定の止水栓又は弁（給水引込部に使用） 屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形（二重蓋含む）とする。	8 排水設備 9 給湯設備 10 消火設備 11 ガス設備 12 浄化槽設備 3 換気設備	1 配管材料 2 満水試験継手 3 バイブシャフト内配管の保温 4 煙試験 1 配管材料 2 弁類 1 配管材料 2 弁類 温 4 屋内消火栓 5 ガス系消火剤の種類 6 ガス系消火の起動方式 1 都市ガス設備 2 配管材料 3 ガスメータ 4 パルク貯槽 5 容器廻りの配管 6 容器転倒防止 7 ガス漏れ警報器 1 処理種別及び方式 2 型式 3 処理能力 4 放流水の水質 5 排水方式 6 埋戻し土 7 土留め工事 8 マンホールふた 9 消毒薬 （ア）屋内汚水管 ●VP ●RF-VP ●排水用塩ビライニング鋼管 ●耐火二層管 （イ）屋内雑排水管 ●VP ●RF-VP ●SGP（白） ●排水用塩ビライニング鋼管 （ウ）ポンプ排水管 ●VP（水道用） ●HIVP ●排水用塩ビライニング鋼管（圧送排水管用継手） （エ）通気管 ●VP ●RF-VP ●SGP（白） ●排水用塩ビライニング鋼管 （オ）屋外排水管 ●VP ●RF-VP ●VU（地中） ●REP-VU（地中） ●RS-VU ●卵形管 ●コンクリート管 3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※取付ける ●取付けない ※施工する ●施工しない ※行わずに ●図示の系統のみ行なう ●SGP-HVA ●ステンレス鋼管 ●架橋ポリエチレン管 ●保温付被覆鋼管 ●銅管 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 ※5K ●10K （ア）一般配管 ●SGP（白） ●STPG （イ）土間下配管 ●SGP-VS ●STPG-VS （ウ）屋外埋設配管 ●SGP-VS ●STPG-VS ※10K ●16K （ア）呼水タンク ※施工しない ●施工する （イ）充水タンク ※施工しない ●施工する （ウ）配管の保温は次による。（屋外露出箇所は種別e3・（ハ）・VIIによる） ●屋内消火栓用（※施工しない ●施工する） ●スプリンクラー用（※施工しない ●施工する） ●連結送水用（※施工しない ●施工する） ●連結散水用（※施工しない ●施工する） ●広範囲型2号消火栓 ●易操作性1号消火栓 ●屋内消火栓（●1号 ●2号） ●窒素 ●IG-541 ●IG-55 ●HFC-227ea ●HFC-23 ※手動 ●自動手動切替式 都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。 （ア）一般配管 ※SGP（白） ●合成樹脂被覆鋼管 （イ）土間下配管 ※合成樹脂被覆鋼管 （ウ）屋外埋設配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ●ガス用ポリエチレン管 ●親メーター ※借用 ●買取 （取付け ※別途 ●本工事） ●子メーター ※買取 ●借用 （取付け ※本工事 ●別途） ●縦型 ●横型 （借用 ●買取 ●標準図（施工72）の ●要領（a） ●要領（b） ●要領（c） ●標準図（施工73）の ●要領（a） ●要領（b） ●不要 ●要（※別途工事 ●本工事） ●小規模合併処理（●分離接触ばっ気方式 ●嫌気ろ床接触ばっ気方式 ●脱窒ろ床接触ばっ気方式 ●その他性能評価を受けた方式（ ） ） ●合併処理 （●接触ばっ気方式 ●長時間ばっ気方式 ●回転板接触方式） ●ユニット型 ●現場施工型 ●処理対象人員 人 ●処理水量 m3／d ●流入BOD 200mg／L ●放流水質BOD 20mg／L以下 ●T-N mg／L以下 ●T-P mg／L以下 ※自然流下 ●ポンプ排水 ●砂 ●根切土の中の良質土 ●不要 ●要（図示による） ※製造者標準仕様（ロック式） ●MHA型（ボルト式） 3ヶ月相当分を納入する。
	25 ステンレス鋼管の接合方法 26 溶接配管の検査 27 埋設表示 ㉔ 支持金物・固定金具 ㉔ 総合試運転調整 30 アスベスト含有建材の処理	呼び径60mm以下の継手は、SAS322による抵管式とする。 ●ガス配管 ●冷水水配管 ●冷却水配管 非破壊検査の適用（●放射線透過検査 ●浸透探傷検査又は磁粉探傷検査） 抜取率（●標準仕様書による ●％ ●地中埋設標を図示する箇所に設ける。 ●埋設表示用テープを埋設する。（●ガス管 ●屋外給水管 ● ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。 屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融垂鉛めっき仕上げとする。 下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。 ◎温度 ●湿度 ●風量 ●騒音 ●水量 ●浄化槽放流水質 ●風速 ●じんあい ●飲料水水质（●一般飲料水適否検査 ● ●その他水质等（●雑用水 ●空調用流体 ● 建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。 処理を行うアスベスト含有建材の仕様等	19 定風量・変風量ユニット 20 温度計 21 冷温水管の空気抜き 22 空調機用トラップ 23 銅板製煙道 24 オイルサービスタンク 25 地下オイルタンク 26 油面制御装置 27 フィルター等付属品 28 パッケージ空調機的能力表示 29 防振吊り及び支持金物 4 排水設備 5 自動制御設備 6 衛生器具設備 7 給水設備 3 換気設備	※流量調整弁 ●定流量弁（●ダイヤフラム式流量可変式 ●カートリッジオリフィス形）を取付ける。 （ア）防煙ダンパー ※遠隔復帰式 ●電気式 （動作作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。） （イ）ピストンダンパー ※遠隔復帰式 ● ※低圧ダクト ●高圧1ダクト ●高圧2ダクト ●長方形ダクト ●コーナーボルト工法（●共板工法 ●スライドオンフランジ工法） （長辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。） ●アングルフランジ工法 ●防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 ボックス ※垂鉛鉄板製 ●グラスウール製 シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工47）を参考とする。 接続するダクトの施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。 線状吹出口には、（長さ＋100）×300×300Hの接続チャンバーを設ける。 外壁に面するガラリにチャンバー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 吹出口接続チャンバー及び図示したダクト並びにチャンバー類に内貼する。 内貼りチャンバー類の寸法は、外法寸法とする。 吹出口接続チャンバー以外の内貼りしたチャンバーには点検口（原則400×600）を取付ける。 形式はビート管式（コック付）とする。 ●着脱式 ●固定式 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 ●冷凍機類の冷水出口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング ●冷凍機類の冷却水出口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング ●ボイラー又は熱交換器の温水出口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング ●冷水水ヘッダーの各送り管 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング ●ユニット形空気調和機の冷水水入口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング ●メカニカル形 ●風速センサー形 機器付属以外の温度計 ※工業用バイメタル式 ●ガード付L形温度計 空気漏れを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。 ●手動 ●自動 自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工36（g）） 機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。 トラップ形式はフオートボール式（床置型） ※FRP製保温型 ●FRP製 ●SUS製 材質及び厚さ ●SS400（※3.2mm ●4.5mm） ●SUS（※1.5mm ●2.0mm） 煤煙濃度計 ●取付ける ●取付けない ●取付座を付ける 煤じん量測定口（80φ×2） ※取付ける ●取付けない 油面計はゲージ式（側圧計）とする。 掘付け方法 ●標準図（施工30）（二重設タンク・タンク室無し） ●標準図（施工31）（タンク室有り） タンクの保護被覆 ※強化プラスチック ●エポキシ樹脂 ●アスファルト 基礎杭 ※不要 ●要（※別途工事 ●本工事） 土留め工事 ●要 ●不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ●給油ポンプの起動停止 ●満油警報 ●減油警報 ● ●機器表特記による。 ●空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。 ※垂鉛鉄板製 ●銅板製（厚1.6mm） 形状 ●パネル形 ●スリット形 ●ダンパー形 取付け ●天井取付 ●壁取付 電気式（遠隔操作 ※不要 ●要） 建築設備定期検査業務基準書2016年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の検査方法に準ずる。 ●有り（構成機能は、図示による） ●無し ●要（●本工事 ●別途工事） ●不要 取付高さ ※1300mm ●mm ●屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。 ●天井隠べいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。 型番変更により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考品番の同等品以上のものとする。 ※節水形 ●標準形 ●自動洗浄（●AC100V ●乾電池 ●自己発電） ●手動洗浄 ●洗浄水量4リットル／回以下 電源供給方式 ●AC100V ●乾電池 ●自己発電 標準図（施工66）の（b） ●親メーター ※借用 ●買取 （※直読 ●遠隔表示） ●子メーター ※買取 ●借用 （※直読 ●遠隔表示） （ア）一般配管 ●SGP-VB ●SGP-PB ●SUS304 ●SUS316 ●HIVP ●架橋ポリエチレン管 （イ）土間配管 ●SGP-VD ●SGP-PD ●HIVP ●SUS304 ●SUS316 （ウ）屋外埋設配管 ●SGP-VD ●SGP-PD ●HIVP ●SUS304 ●SUS316 ●水道配水用ポリエチレン管（75～100A） ●水道用ポリエチレン二層管（50A以下） （エ）特記なき給水管の最小口径は20Aとする。 （オ）ビニル管の接合方法 ※接着接合 ●ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。） （カ）ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※金属製継手 ●融着継手 75A以上 ※融着継手 ※口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ラインング弁とする。 ●5K（受水槽以降の配管に使用） ●10K（公営水道に直結する配管に使用） ●公営水道事業者指定の止水栓又は弁（給水引込部に使用） 屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形（二重蓋含む）とする。	1 配管材料 2 満水試験継手 3 バイブシャフト内配管の保温 4 煙試験 1 配管材料 2 弁類 1 配管材料 2 弁類 温 4 屋内消火栓 5 ガス系消火剤の種類 6 ガス系消火の起動方式 1 都市ガス設備 2 配管材料 3 ガスメータ 4 パルク貯槽 5 容器廻りの配管 6 容器転倒防止 7 ガス漏れ警報器 1 処理種別及び方式 2 型式 3 処理能力 4 放流水の水質 5 排水方式 6 埋戻し土 7 土留め工事 8 マンホールふた 9 消毒薬 （ア）屋内汚水管 ●VP ●RF-VP ●排水用塩ビライニング鋼管 ●耐火二層管 （イ）屋内雑排水管 ●VP ●RF-VP ●SGP（白） ●排水用塩ビライニング鋼管 （ウ）ポンプ排水管 ●VP（水道用） ●HIVP ●排水用塩ビライニング鋼管（圧送排水管用継手） （エ）通気管 ●VP ●RF-VP ●SGP（白） ●排水用塩ビライニング鋼管 （オ）屋外排水管 ●VP ●RF-VP ●VU（地中） ●REP-VU（地中） ●RS-VU ●卵形管 ●コンクリート管 3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※取付ける ●取付けない ※施工する ●施工しない ※行わずに ●図示の系統のみ行なう ●SGP-HVA ●ステンレス鋼管 ●架橋ポリエチレン管 ●保温付被覆鋼管 ●銅管 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 ※5K ●10K （ア）一般配管 ●SGP（白） ●STPG （イ）土間下配管 ●SGP-VS ●STPG-VS （ウ）屋外埋設配管 ●SGP-VS ●STPG-VS ※10K ●16K （ア）呼水タンク ※施工しない ●施工する （イ）充水タンク ※施工しない ●施工する （ウ）配管の保温は次による。（屋外露出箇所は種別e3・（ハ）・VIIによる） ●屋内消火栓用（※施工しない ●施工する） ●スプリンクラー用（※施工しない ●施工する） ●連結送水用（※施工しない ●施工する） ●連結散水用（※施工しない ●施工する） ●広範囲型2号消火栓 ●易操作性1号消火栓 ●屋内消火栓（●1号 ●2号） ●窒素 ●IG-541 ●IG-55 ●HFC-227ea ●HFC-23 ※手動 ●自動手動切替式 都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。 （ア）一般配管 ※SGP（白） ●合成樹脂被覆鋼管 （イ）土間下配管 ※合成樹脂被覆鋼管 （ウ）屋外埋設配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ●ガス用ポリエチレン管 ●親メーター ※借用 ●買取 （取付け ※別途 ●本工事） ●子メーター ※買取 ●借用 （取付け ※本工事 ●別途） ●縦型 ●横型 （借用 ●買取 ●標準図（施工72）の ●要領（a） ●要領（b） ●要領（c） ●標準図（施工73）の ●要領（a） ●要領（b） ●不要 ●要（※別途工事 ●本工事） ●小規模合併処理（●分離接触ばっ気方式 ●嫌気ろ床接触ばっ気方式 ●脱窒ろ床接触ばっ気方式 ●その他性能評価を受けた方式（ ） ） ●合併処理 （●接触ばっ気方式 ●長時間ばっ気方式 ●回転板接触方式） ●ユニット型 ●現場施工型 ●処理対象人員 人 ●処理水量 m3／d ●流入BOD 200mg／L ●放流水質BOD 20mg／L以下 ●T-N mg／L以下 ●T-P mg／L以下 ※自然流下 ●ポンプ排水 ●砂 ●根切土の中の良質土 ●不要 ●要（図示による） ※製造者標準仕様（ロック式） ●MHA型（ボルト式） 3ヶ月相当分を納入する。	
	35 工事安全計画書等 36 室内空気中の化学物質の濃度測定 ㉔ 火災保険等 ㉔ グリーン購入 39 鳥取県公共工事環境配慮指針 40 建築物省エネ法	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。 実施する。 工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加する。 （保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期＋21日]とする。） グリーン購入は次のものとする。 ●空調用機器（エアコン）※ただし、常時監視システムは除く） ●衛生器具（ ●断熱材（ ） ●配管材（ ●再生硬質塩化ビニル管 ●その他（ ） 対象工事 対象工事	1 設計用温湿度条件 2 冷却水管 3 冷水・温水・冷温水管 4 膨張・空気抜・補給水管 5 蒸気給水管 6 蒸気還水管 7 油・油用通気管 8 冷媒管 9 空調用給水管 10 空調用排水管 11 弁類 ※SGP（白） ●SGP-VA ●SGP-PA ●SGP（白） ●SGP-HVA ●ステンレス鋼管（SUS304） ●架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ●ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る） ※SGP（白） ●ステンレス鋼管（SUS304） ※SGP（黒） ※STPG370-ScH40（黒） ●ステンレス鋼管（SUS304） 一般配管 ※SGP（黒） 地中配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ※断熱材被覆鋼管 ●ステンレス鋼管 ●SGP-VA ※SGP（白） ◎VP ◎ドレンホース ※5K ●10K	12 ファンコイルユニット 13 ダンパー 14 ダクト 15 吹出口・吸込口 16 チャンバー等 17 消音内貼り 18 瞬間流量計及び流量測定口 19 定風量・変風量ユニット 20 温度計 21 冷温水管の空気抜き 22 空調機用トラップ 23 銅板製煙道 24 オイルサービスタンク 25 地下オイルタンク 26 油面制御装置 27 フィルター等付属品 28 パッケージ空調機的能力表示 29 防振吊り及び支持金物 4 排水設備 5 自動制御設備 6 衛生器具設備 7 給水設備 3 換気設備	※流量調整弁 ●定流量弁（●ダイヤフラム式流量可変式 ●カートリッジオリフィス形）を取付ける。 （ア）防煙ダンパー ※遠隔復帰式 ●電気式 （動作作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。） （イ）ピストンダンパー ※遠隔復帰式 ● ※低圧ダクト ●高圧1ダクト ●高圧2ダクト ●長方形ダクト ●コーナーボルト工法（●共板工法 ●スライドオンフランジ工法） （長辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。） ●アングルフランジ工法 ●防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 ボックス ※垂鉛鉄板製 ●グラスウール製 シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工47）を参考とする。 接続するダクトの施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。 線状吹出口には、（長さ＋100）×300×300Hの接続チャンバーを設ける。 外壁に面するガラリにチャンバー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 吹出口接続チャンバー及び図示したダクト並びにチャンバー類に内貼する。 内貼りチャンバー類の寸法は、外法寸法とする。 吹出口接続チャンバー以外の内貼りしたチャンバーには点検口（原則400×600）を取付ける。 形式はビート管式（コック付）とする。 ●着脱式 ●固定式 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 ●冷凍機類の冷水出口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング ●冷凍機類の冷却水出口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング ●ボイラー又は熱交換器の温水出口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング ●冷水水ヘッダーの各送り管 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング ●ユニット形空気調和機の冷水水入口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング ●メカニカル形 ●風速センサー形 機器付属以外の温度計 ※工業用バイメタル式 ●ガード付L形温度計 空気漏れを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。 ●手動 ●自動 自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工36（g）） 機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。 トラップ形式はフオートボール式（床置型） ※FRP製保温型 ●FRP製 ●SUS製 材質及び厚さ ●SS400（※3.2mm ●4.5mm） ●SUS（※1.5mm ●2.0mm） 煤煙濃度計 ●取付ける ●取付けない ●取付座を付ける 煤じん量測定口（80φ×2） ※取付ける ●取付けない 油面計はゲージ式（側圧計）とする。 掘付け方法 ●標準図（施工30）（二重設タンク・タンク室無し） ●標準図（施工31）（タンク室有り） タンクの保護被覆 ※強化プラスチック ●エポキシ樹脂 ●アスファルト 基礎杭 ※不要 ●要（※別途工事 ●本工事） 土留め工事 ●要 ●不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ●給油ポンプの起動停止 ●満油警報 ●減油警報 ● ●機器表特記による。 ●空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。 ※垂鉛鉄板製 ●銅板製（厚1.6mm） 形状 ●パネル形 ●スリット形 ●ダンパー形 取付け ●天井取付 ●壁取付 電気式（遠隔操作 ※不要 ●要） 建築設備定期検査業務基準書2016年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の検査方法に準ずる。 ●有り（構成機能は、図示による） ●無し ●要（●本工事 ●別途工事） ●不要 取付高さ ※1300mm ●mm ●屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。 ●天井隠べいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。 型番変更により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考品番の同等品以上のものとする。 ※節水形 ●標準形 ●自動洗浄（●AC100V ●乾電池 ●自己発電） ●手動洗浄 ●洗浄水量4リットル／回以下 電源供給方式 ●AC100V ●乾電池 ●自己発電 標準図（施工66）の（b） ●親メーター ※借用 ●買取 （※直読 ●遠隔表示） ●子メーター ※買取 ●借用 （※直読 ●遠隔表示） （ア）一般配管 ●SGP-VB ●SGP-PB ●SUS304 ●SUS316 ●HIVP ●架橋ポリエチレン管 （イ）土間配管 ●SGP-VD ●SGP-PD ●HIVP ●SUS304 ●SUS316 （ウ）屋外埋設配管 ●SGP-VD ●SGP-PD ●HIVP ●SUS304 ●SUS316 ●水道配水用ポリエチレン管（75～100A） ●水道用ポリエチレン二層管（50A以下） （エ）特記なき給水管の最小口径は20Aとする。 （オ）ビニル管の接合方法 ※接着接合 ●ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。） （カ）ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※金属製継手 ●融着継手 75A以上 ※融着継手 ※口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ラインング弁とする。 ●5K（受水槽以降の配管に使用） ●10K（公営水道に直結する配管に使用） ●公営水道事業者指定の止水栓又は弁（給水引込部に使用） 屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形（二重蓋含む）とする。	1 配管材料 2 満水試験継手 3 バイブシャフト内配管の保温 4 煙試験 1 配管材料 2 弁類 1 配管材料 2 弁類 温 4 屋内消火栓 5 ガス系消火剤の種類 6 ガス系消火の起動方式 1 都市ガス設備 2 配管材料 3 ガスメータ 4 パルク貯槽 5 容器廻りの配管 6 容器転倒防止 7 ガス漏れ警報器 1 処理種別及び方式 2 型式 3 処理能力 4 放流水の水質 5 排水方式 6 埋戻し土 7 土留め工事 8 マンホールふた 9 消毒薬 （ア）屋内汚水管 ●VP ●RF-VP ●排水用塩ビライニング鋼管 ●耐火二層管 （イ）屋内雑排水管 ●VP ●RF-VP ●SGP（白） ●排水用塩ビライニング鋼管 （ウ）ポンプ排水管 ●VP（水道用） ●HIVP ●排水用塩ビライニング鋼管（圧送排水管用継手） （エ）通気管 ●VP ●RF-VP ●SGP（白） ●排水用塩ビライニング鋼管 （オ）屋外排水管 ●VP ●RF-VP ●VU（地中） ●REP-VU（地中） ●RS-VU ●卵形管 ●コンクリート管 3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※取付ける ●取付けない ※施工する ●施工しない ※行わずに ●図示の系統のみ行なう ●SGP-HVA ●ステンレス鋼管 ●架橋ポリエチレン管 ●保温付被覆鋼管 ●銅管 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 ※5K ●10K （ア）一般配管 ●SGP（白） ●STPG （イ）土間下配管 ●SGP-VS ●STPG-VS （ウ）屋外埋設配管 ●SGP-VS ●STPG-VS ※10K ●16K （ア）呼水タンク ※施工しない ●施工する （イ）充水タンク ※施工しない ●施工する （ウ）配管の保温は次による。（屋外露出箇所は種別e3・（ハ）・VIIによる） ●屋内消火栓用（※施工しない ●施工する） ●スプリンクラー用（※施工しない ●施工する） ●連結送水用（※施工しない ●施工する） ●連結散水用（※施工しない ●施工する） ●広範囲型2号消火栓 ●易操作性1号消火栓 ●屋内消火栓（●1号 ●2号） ●窒素 ●IG-541 ●IG-55 ●HFC-227ea ●HFC-23 ※手動 ●自動手動切替式 都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。 （ア）一般配管 ※SGP（白） ●合成樹脂被覆鋼管 （イ）土間下配管 ※合成樹脂被覆鋼管 （ウ）屋外埋設配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ●ガス用ポリエチレン管 ●親メーター ※借用 ●買取 （取付け ※別途 ●本工事） ●子メーター ※買取 ●借用 （取付け ※本工事 ●別途） ●縦型 ●横型 （借用 ●買取 ●標準図（施工72）の ●要領（a） ●要領（b） ●要領（c） ●標準図（施工73）の ●要領（a） ●要領（b） ●不要 ●要（※別途工事 ●本工事） ●小規模合併処理（●分離接触ばっ気方式 ●嫌気ろ床接触ばっ気方式 ●脱窒ろ床接触ばっ気方式 ●その他性能評価を受けた方式（ ） ） ●合併処理 （●接触ばっ気方式 ●長時間ばっ気方式 ●回転板接触方式） ●ユニット型 ●現場施工型 ●処理対象人員 人 ●処理水量 m3／d ●流入BOD 200mg／L ●放流水質BOD 20mg／L以下 ●T-N mg／L以下 ●T-P mg／L以下 ※自然流下 ●ポンプ排水 ●砂 ●根切土の中の良質土 ●不要 ●要（図示による） ※製造者標準仕様（ロック式） ●MHA型（ボルト式） 3ヶ月相当分を納入する。
尾崎設計 一級建築士事務所 第04-767号 管理建築士 一級建築士 （大臣登録番号 第308101号） 尾崎 知典		作成年月 R 08.08	代表となる設計者 （有）尾崎設計 1級建築士 大臣登録番号 308101号 尾崎 知典 その他の設計者 （有）福田設備設計 1級建築士 大臣登録番号 376077号 福田 洋之	名称 大岩保育所等空調設備改修工事 図面名 機械設備工事特記仕様書（2）	縮尺 —	図面 No. M - 03</



【改修概要】	
①	岩美町立大岩保育所及び大岩交流センター（大岩交流センター〔コミュニティセンター+児童館+保育所〕）の給食室、児童クラブ室、図書室、静養室の冷暖房設備改修工事を行う
	・児童クラブ室（PAC06）室内機2台、室外機1台 撤去・更新（既設配管・配線再使用）
	・図書室（PAC06）室内機2台、室外機1台 撤去・更新（既設配管・配線再使用）
	・静養室（PAC08）室内機2台、室外機1台 撤去・更新（既設配管・配線再使用）
	・給食室（PAC09）室内機2台、室外機1台 撤去・更新（既設配管・配線再使用）
	上記に伴う機械設備工事・電気設備工事一式
【注意事項】	
	・工事期間中は、施設を使用しながらの工事となるため、利用者の安全を確保すること。
	・施設運営に支障無きよう、施設管理者並びに監督員と十分な打合せを行い施工すること。
	※給食室の施工は、土日及び祝日等の業務を行っていない日の施工とする
	・撤去材搬出、材料搬入に於いては、施設利用者に支障が無いよう通行するとともに、事故が起きないよう安全確認を行うこと。
	・周辺道路、敷地内舗装及び建物に、毀損・汚損をした場合は請負者の責任において速やかに現状回復すること。
	・工事に支障となる、設備機器等には、養生を行うこと。



作 成 年 月

R 08. 08

代表となる設計者

(有)尾崎設計 1級建築士 大臣登録番号 308101号 尾崎 知典

その他の設計者

(有)福田設備設計 1級建築士 大臣登録番号 376077号 福田 洋之

名 称

大岩保育所等空調設備改修工事

図面名

付近見取図・配置図

縮尺

1/300

図面縮小率

A3 70. 7%

図面 No.

M - 04

更新機器表					
機 器 表					
記 号	名 称	仕 様 （その他付属品一式）	電 源 容 量	数 量	備 考 ＜設置場所＞
			Φ V W・kW		
PAC 06	空冷式ﾊﾞｯｹｰｼﾞﾝｸﾞｺﾝ 【同時ﾀｲﾅｲﾌﾞ】	室内機 4方向吹出し【天井ｽﾍﾟﾙﾄ形】(ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ) ×2台 参考 FDTZ1126HP6S 室外機【耐重塩害仕様】 冷房能力 10.0(2.8～11.2)kW 暖房能力 11.2(3.5～14.3)kW ｸﾞﾗｲﾝﾄﾞﾘﾐｯｺﾝ, 化粧ﾊﾞﾙﾌﾞ, ﾎﾞﾚﾝｼｬﾌﾞﾙ SUS製防雪ﾌｰﾄﾞ(吸込吹出共), その他標準付属品一式 共 架台(溶融亜鉛ﾌｻｷ)(既設再使用)	3φ200V 室内機 送風機出力 58W 室外機 圧縮機出力 2.0kW 送風機出力 86W ×2	2	児童ﾌｻﾞﾂ室 図書室 ※室外機に電源
PAC 08	空冷式ﾊﾞｯｹｰｼﾞﾝｸﾞｺﾝ 【同時ﾀｲﾅｲﾌﾞ】	室内機 1方向吹出し【天井ｽﾍﾟﾙﾄ形】(ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ) ×2台 参考 FDTSZ1126HP6S 室外機【耐重塩害仕様】 冷房能力 10.0(2.5～11.2)kW 暖房能力 11.2(3.2～14.3)kW ｸﾞﾗｲﾝﾄﾞﾘﾐｯｺﾝ, 化粧ﾊﾞﾙﾌﾞ, ｳｴﾅｰﾌﾙﾊﾞﾙﾌﾞ, ﾎﾞﾚﾝｼｬﾌﾞﾙ その他標準付属品一式 共 架台(溶融亜鉛ﾌｻｷ)500H(既設再使用)	3φ200V 室内機 送風機出力 50W 室外機 圧縮機出力 2.0kW 送風機出力 86W ×2	1	静養室 ※室外機に電源
PAC 09	空冷式ﾊﾞｯｹｰｼﾞﾝｸﾞｺﾝ 【同時ﾀｲﾅｲﾌﾞ】	室内機 【天吊耐油形】(ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ) ×2台 参考 FDESZ1606HP6 室外機【耐重塩害仕様】 冷房能力 14.0(5.7～16.0)kW 暖房能力 16.0(4.0～20.3)kW ｸﾞﾗｲﾝﾄﾞﾘﾐｯｺﾝ SUS製防雪ﾌｰﾄﾞ(吸込吹出共), その他標準付属品一式 共 架台(溶融亜鉛ﾌｻｷ)(既設再使用)	3φ200V 室内機 送風機出力 70W ×2 室外機 圧縮機出力 3.4kW 送風機出力 86W ×2	1	給食室 ※室外機に電源

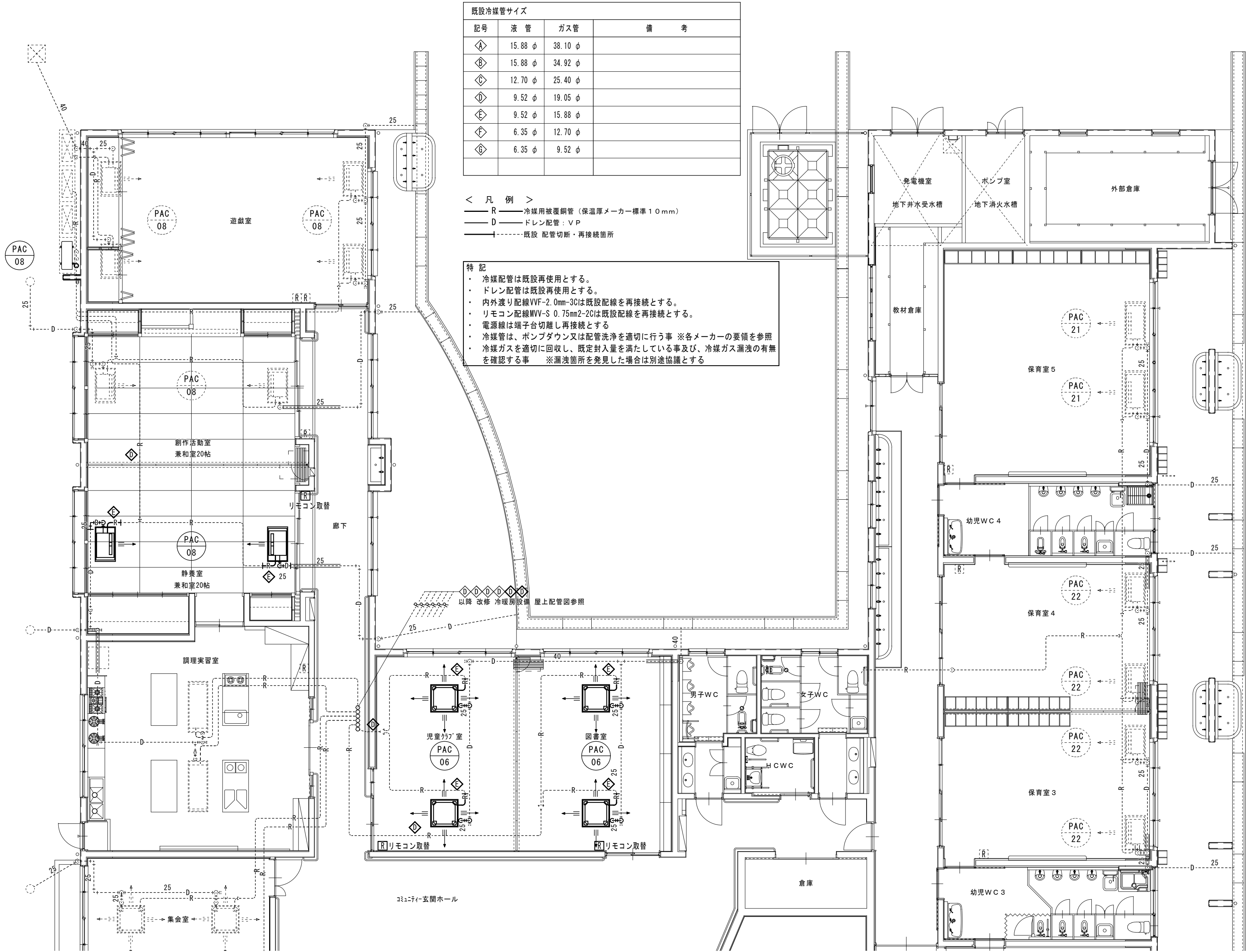
※2015年省エネルギー基準値クリア、グリーン購入法基準値適合品とする。 ※グリーン購入は常時監視システムは除く

※冷暖房能力は、J I S 条件時の必要能力を示す。

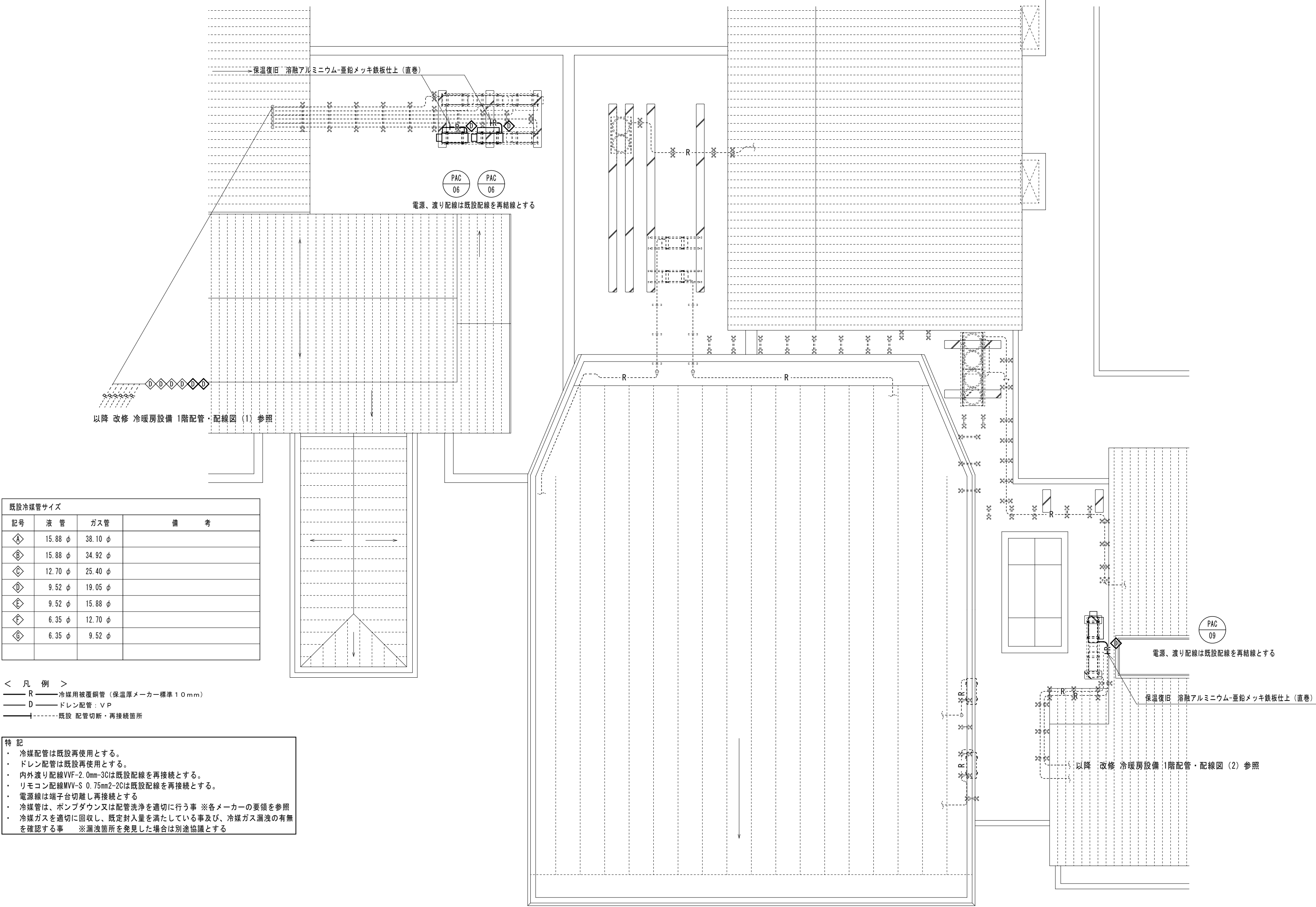
※パッケージエアコンの冷暖房能力は、J I S 条件時の室外機必要能力(最大時)を示す。

※室外機と、銅製架台接合はSUS製M-10ボルトナットで締結の事。

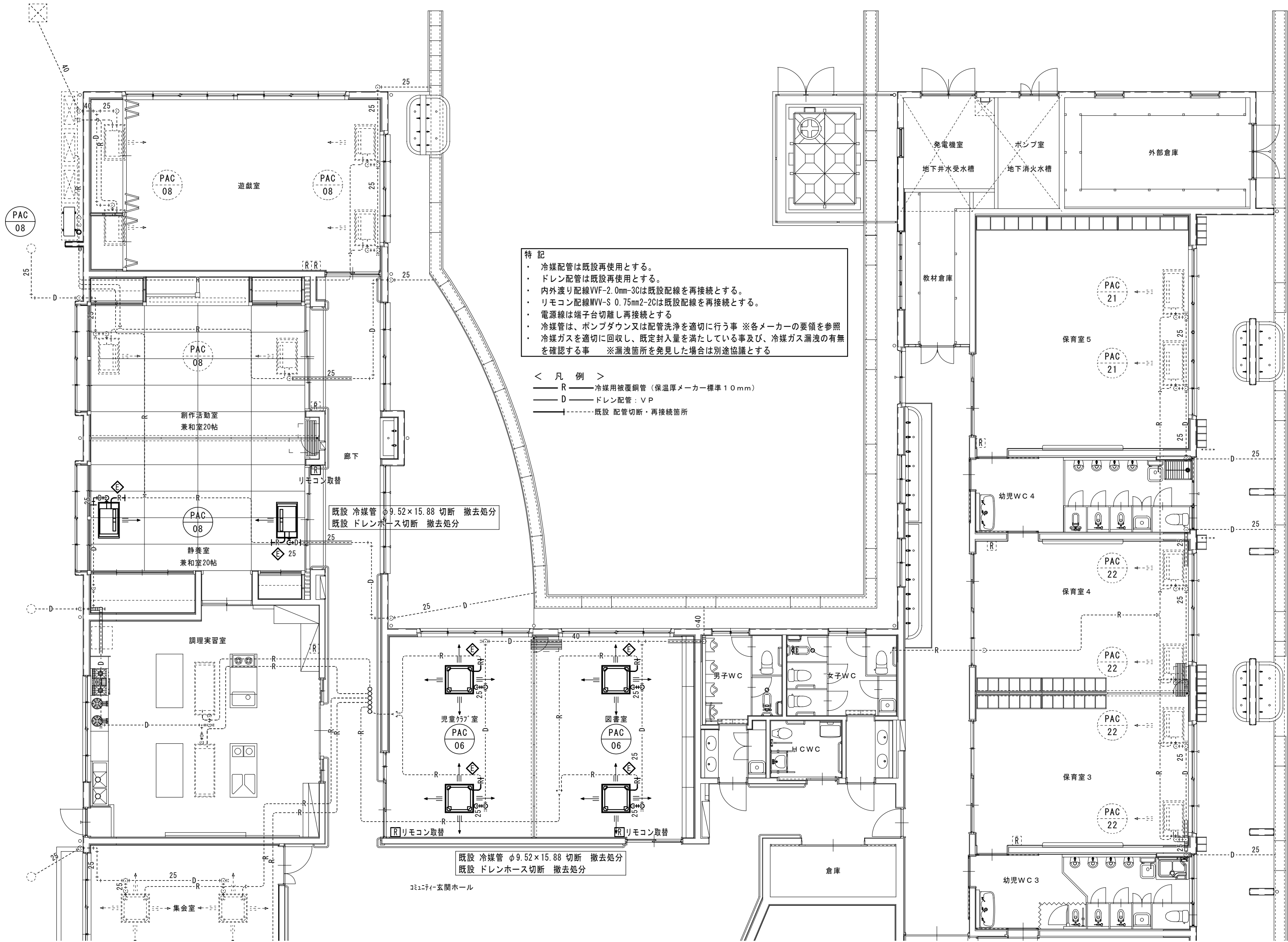
撤去機器表					
機 器 表					
記 号	名 称	仕 様 （その他付属品一式）	電 源 容 量	数 量	備 考 ＜設置場所＞
			Φ V W・kW		
PAC 06	空冷式ﾊﾞｯｹｰｼﾞﾝｸﾞｺﾝ 【同時ﾀｲﾅｲﾌﾞ】	室内機 4方向吹出し【天井ｽﾍﾟﾙﾄ形】(ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ) ×2台 三菱重工 FDTV112HP22 室外機【耐重塩害仕様】 冷房能力 10.0(4.7～11.2)kW 暖房能力 11.2(4.1～14.0)kW 冷媒ガス種 R410A 4.5kg ｸﾞﾗｲﾝﾄﾞﾘﾐｯｺﾝ, 化粧ﾊﾞﾙﾌﾞ, ﾎﾞﾚﾝｼｬﾌﾞﾙ SUS製防雪ﾌｰﾄﾞ(吸込吹出共), その他標準付属品一式 共	3φ200V 室内機 送風機出力 0.014? ×2 室外機 圧縮機出力 1.9kW 送風機出力 0.065? ×2	2	児童ﾌｻﾞﾂ室 図書室 ※室外機に電源
PAC 08	空冷式ﾊﾞｯｹｰｼﾞﾝｸﾞｺﾝ 【同時ﾀｲﾅｲﾌﾞ】	室内機 1方向吹出し【天井ｽﾍﾟﾙﾄ形】(ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ) ×2台 三菱重工 FDTSP112HP2 室外機【耐重塩害仕様】 冷房能力 10.0(4.7～11.2)kW 暖房能力 11.2(4.1×14.0)kW 冷媒ガス種 R410A 4.5kg ｸﾞﾗｲﾝﾄﾞﾘﾐｯｺﾝ, 化粧ﾊﾞﾙﾌﾞ, ﾎﾞﾚﾝｼｬﾌﾞﾙ その他標準付属品一式 共	3φ200V 室内機 送風機出力 0.035? ×2 室外機 圧縮機出力 1.9kW 送風機出力 0.065? ×2	1	静養室 ※室外機に電源
PAC 09	空冷式ﾊﾞｯｹｰｼﾞﾝｸﾞｺﾝ 【同時ﾀｲﾅｲﾌﾞ】	室内機 【天吊耐油形】(ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ) ×2台 三菱重工 FDTSP112HP2 室外機【耐重塩害仕様】 冷房能力 14.0(5.7～16.0)kW 暖房能力 16.0(4.0～20.3)kW 冷媒ガス種 R410A 4.5kg ｸﾞﾗｲﾝﾄﾞﾘﾐｯｺﾝ SUS製防雪ﾌｰﾄﾞ(吸込吹出共), その他標準付属品一式 共	3φ200V 室内機 送風機出力 0.070? 室外機 圧縮機出力 4.0kW 送風機出力 0.065? ×2	1	給食室 ※室外機に電源



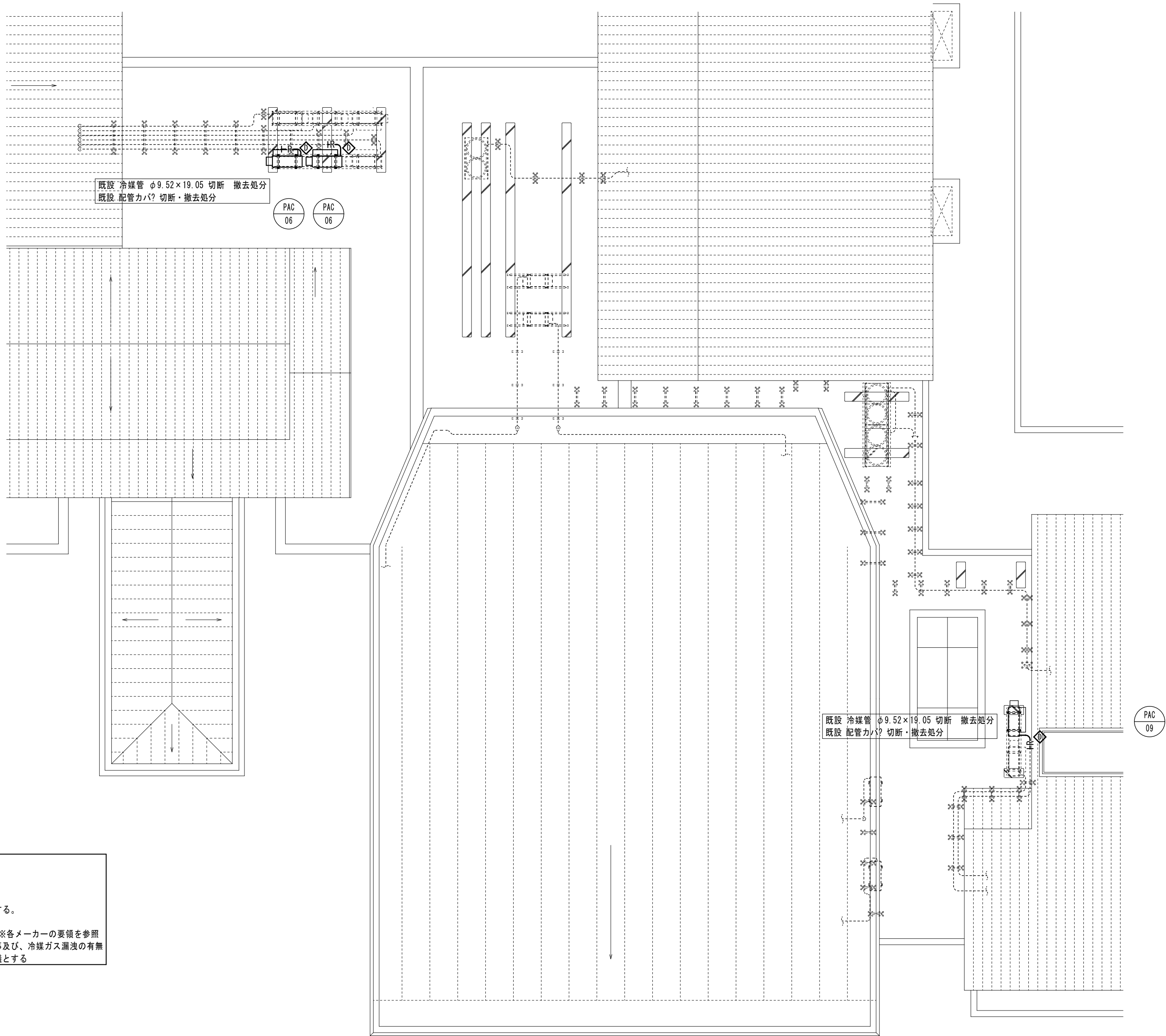
改修 冷暖房設備 1階配管・配線図 (1) 1/100



改修 冷暖房設備 屋上配管図 1/100



撤去 冷暖房設備 1階配管・配線図 (1)



< 凡 例 >

- R —— 冷媒用被覆銅管（保温厚メーカー標準 10mm）
—— D —— ドレン配管：VP
——+----- 既設 配管切断・再接続箇所

特 記

- ・ 冷媒配管は既設再使用とする。
- ・ ドレン配管は既設再使用とする。
- ・ 内外液り配線VVF-2.0mm-3Cは既設配線を再接続とする。
- ・ リモコン配線MVV-S 0.75mm2-2Cは既設配線を再接続とする。
- ・ 電源線は端子台切離し再接続とする
- ・ 冷媒管は、ポンプダウン又は配管洗浄を適切に行う事 ※各メーカーの要領を参照
- ・ 冷媒ガスを適切に回収し、既定封入量を満たしている事及び、冷媒ガス漏洩の有無を確認する事 ※漏洩箇所を発見した場合は別途協議とする

撤去 冷暖房設備 屋上配管図 1/100



有限会社 尾崎設計 一級建築士事務所 第04-767号
管理建築士 一級建築士 (大臣登録番号 第308101号) 尾崎 知典

作 成 年 月
R 08.08

代表となる設計者
(有)尾崎設計 1級建築士 大臣登録番号 308101号 尾崎 知典
その他の設計者
(有)福田設備設計 1級建築士 大臣登録番号 376077号 福田 洋之

名 称
大岩保育所等空調設備改修工事
図面名
撤去 冷暖房設備 屋上配管図

縮尺
1/100
図面縮小率
A3 70.7%

図面 No.
M - 11